

令和6年6月12日（水）、次のとおり定例会議等を開催した。

1 審議・報告内容

(1) 令和6年度函館方面警察拳銃射撃競技大会の実施

佐々木警務課長から、令和6年度函館方面警察拳銃射撃競技大会の実施について報告を受けた。

(2) 若手地域警察官及び指導員の活躍好事例

馬場地域課長から、若手地域警察官及び指導員の活躍好事例について報告を受けた。

中田委員から「こうした好事例の紹介はとても新鮮に感じた。若手職員の励みになると思うので、積極的に情報共有していただきたい。1例目については、行為者にもやむにやまれぬ事情があったのではないかと推察されるところ、警察が他の行政機関に働き掛け、助けてあげることによって、地域の問題解決につながった好事例であり、大変感心した。例えば検挙に至らなくても、こうした活動はとても重要だと思うので、今後も頑張っていたいただきたい。」旨の発言があった。

堀田委員から「1例目について、検挙に至らずとも、根本的な解決が図られたことによって、地域住民の管轄交番に対する信頼感は大きく高められたのではないかと感じる。今後も、地域住民の生活を守るため、こうした活動を続けていただきたい。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「警察の不祥事は大きく取り上げられてしまうが、こうした素晴らしい取り組みはなかなか取り上げてもらえないものである。頑張っていたいただいた職員を労うためにも、表彰等を検討してはいかがか。」旨の発言があった。

(3) 函館方面職務質問準技能指導員等研修会の実施

馬場地域課長から、函館方面職務質問準技能指導員等研修会の実施について報告を受けた。

堀田委員から「職務質問の技術を身に付けるのはとても大変なことだと思うが、議題(2)の2例目で、細やかな観察によって不審点を見つけ、被疑者の検挙に至ったとのことなので、研修会によって、そうした技術を高めていただきたい。」旨の発言があった。

(4) 令和6年函館方面囑託警察犬審査会の実施

長力鑑識課長から、令和6年函館方面囑託警察犬審査会の実施について報告を受けた。

中田委員から「犬の寿命は短く、訓練によるストレスも大きいので、現役で活躍出来る期間もそう長くはないのではないかと。そのため、指導手は継続的に犬を育成していかなければならず、大変な苦労があるものと思う。犬の育成のみならず、指導手の育成も含め、こうしたことを地道にやっていただけるよう必要な援助をしていくことも大切だと感じた。」旨の発言があった。

(5) 殉職・受傷事故防止に向けた研修会及び訓練の実施

横田交通課長から、殉職・受傷事故防止に向けた研修会及び訓練の実施について報告を受けた。

堀田委員から「現状では、現場で活動する職員が、年間を通じて定期的に訓練に参加できているとのことであるが、今後も、多くの職員が訓練に参加できるように、回数等にも配慮しつつ、継続的な実施をお願いしたい。」旨の発言があった。

(6) 運転免許試験場職員の勤務時間変更の試行実施

横田交通課長から、運転免許試験場職員の勤務時間変更の試行実施について報告を受けた。

(7) 技能伝承官による運転訓練の実施結果

横田交通課長から、技能伝承官による運転訓練の実施結果について報告を受けた。

齋藤委員長から「訓練時の動画を視聴したが、指導員の運転技術は、非常にレベルが高くて驚いた。本訓練によって、参加者の運転技術が大きく向上したとのことで、大変効果的な訓練だったのではないかと。他県では、白バイによる追突事故も発生しているので、こうした訓練を通じて、交通事故防止を図っていただきたい。」旨の発言があった。

(8) 函館空港危機管理コアメンバー会合の実施

忠石警備課長から、函館空港危機管理コアメンバー会合の実施について報告を受けた。

中田委員から「CBRNEへの対処については、医学的知識も非常に役立つものと思われる。今後、医師会等に対し、こうした会合への参加を働き掛けてみてはいかがか。」旨の発言があった。

2 決裁・報告事項

(1) 猟銃教習資格認定拒否について報告を受け、決裁を行った。

(2) ストーカー規制法に基づく警告及び禁止命令等の実施結果（5月分）について報告を受け、決裁を行った。